

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」					学 科 名	ケアキャリア養成科	
科目番号	0302	科 目 名	介護基礎Ⅰ			科目区分	専任・実務経験教員
科 目 群	介護実務	担当講師	神成圭司 山根陽子			履修区分	講義
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	1	授業形態	必修
教 科 書	実務者研修テキスト（第4版） 2・3・4巻 日本医療企画						
成績評価	試験（確認テスト・期末テスト）80％ 授業態度 10％ 提出物 10％						

1. 授業概要

「尊厳の保持」「自立支援」を理解し、生活環境、暮らしの実際から介護の安全、チームケアを学ぶ

2. 到達目標

個別ケア、ICF、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、自立に向けた介護を展開するプロセスを理解している

3. 授業計画

後期	
1	尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開
2	介護福祉士の倫理
3	介護を必要とする人の生活の理解と支援
4	介護実践における連携
5	介護における安全の確保とリスクマネジメント
6	介護職員の健康管理と労働法規
7	確認テスト
8	コミュニケーションの基本的理解
9	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション
10	介護におけるチームのコミュニケーション
11	生活支援と ICF（国際生活機能分類）
12	ボディメカニクス、介護技術の応用
13	環境整備、福祉用具活用等の視点
14	ターミナルケア
15	期末テスト

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」					学 科 名	ケアキャリア養成科	
科目番号	0202	科 目 名	介護基礎Ⅱ			科目区分	専任・実務経験教員
科 目 群	介護基礎	担当講師	神成圭司			履修区分	講義
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	必修
教 科 書	やさしく学べる介護の知識・技術 甘利庸子編著 中央法規						
成績評価	試験（確認テスト・期末テスト）80％ 授業態度 10％ 提出物 10％						

### 1. 授業概要

あらゆる介護場面に適応できる基本的な介護の知識・技術を身に付ける
----------------------------------

### 2. 到達目標

利用者を主体とした質の高い介護を提供する事ができるようになる
--------------------------------

### 3. 授業計画

前期	
1	職務の理解：介護保険サービスを理解する
2	サービスの種類と内容：日本の介護の基本的な考え方を理解する
3	介護の基本①：介護の専門性について理解する
4	介護の基本②：安全の確保、事故予防、安全対策に必要なことを理解する
5	介護職の役割、専門性と多職種との連携について
6	介護におけるコミュニケーション①：利用者とのコミュニケーション方法
7	介護におけるコミュニケーション②：家族とのコミュニケーション方法
8	介護におけるチームコミュニケーション①：介護記録の書き方、記録の種類
9	介護におけるチームコミュニケーション②：介護記録の書き方、報告・連絡・相談
10	老化の理解①：老化による心理や行動
11	老化の理解②：廃用症候群、バイタルチェック
12	老化の理解③：症状からみた病気と観察ポイント
13	老化の理解④：高齢者に多い病気
14	老化の理解⑤：感染症とその対応策、予防策
15	確認テスト
16	こころのしくみの理解
17	からだのしくみの理解
18	生活と家事
19	快適な居住環境整備
20	こころとからだのしくみ①：整容、移動・移乗介助について①
21	こころとからだのしくみ②：整容、移動・移乗介助について②
22	こころとからだのしくみ③：移動・移乗に関する福祉用具について
23	こころとからだのしくみ④：食事、入浴・清潔保持について①
24	こころとからだのしくみ⑤：食事、入浴・清潔保持について②
25	こころとからだのしくみ⑥：排泄について①
26	こころとからだのしくみ⑦：排泄について②
27	こころとからだのしくみ⑧：睡眠について
28	こころとからだのしくみ⑨：看取りについて
29	振り返り
30	期末テスト

# 科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」					学 科 名	ケアキャリア養成科	
科目番号	0203	科 目 名	介護基礎Ⅱ（介護技術）			科目区分	専任・実務経験教員
科 目 群	介護基礎	担当講師	神成圭司 山根陽子			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教 科 書	やさしく学べる介護の知識・技術 甘利庸子編著 中央法規						
成績評価	確認テスト（6回）30％ 総合演習（模擬演習4事例）60％ 授業態度 10％						

## 1. 授業概要

演習を中心にして利用者に対しての生活支援技術の基本的理論、方法を理解するこの授業では教員が、実際に介護現場で経験、体験したことを事例にし、学生に伝える事でより現実味のある授業を展開することができる

## 2. 到達目標

介助技術の理解と知識、技術の基礎から応用力を学び現場で活用できる能力を習得する

## 3. 授業計画

前期	
1	介護技術を実践するにあたって
2	ボディメカニックスの基本原則について
3	ベットメイク：三角コーナー実践
4	確認テスト①
5	シーツ交換①：ベッド上利用者臥床時のシーツ交換①
6	シーツ交換②：ベッド上利用者臥床時のシーツ交換②
7	確認テスト②
8	水平移動：ベッド上での安全な移動方法を習得
9	体位変換①：仰臥位から端座位への体位変換
10	体位変換②：端座位から立位への体位変換
11	移乗介助①：ベッドから車椅子、車椅子からベッドへの移乗介助
12	体位変換から移乗介助：ベッド⇄車椅子への一連の介助技術を習得する
13	確認テスト③
14	安全な歩行を支える介護：室内杖歩行の介護技術の習得
15	安全な移動：車椅子を利用した移動方法の習得
16	確認テスト④
17	衣類着脱介助①：座位、前開きの衣類の着脱介助を習得する
18	衣類着脱介助②：臥床、前開きの衣類の着脱介助を習得する
19	衣類着脱介助③：座位、丸首衣類の着脱介助を習得する
20	衣類着脱介助④：臥床、丸首衣類の着脱介助を習得する
21	確認テスト⑤
22	排泄介助①：ベッド上でのオムツ交換
23	排泄介助②：ポータブルトイレを利用した排泄介助
24	確認テスト⑥
25	入浴・清潔保持の介助：安全、的確な入浴、清潔保持の介助方法の習得
26	食事の介助・口腔の清潔介助：食事介助、口腔ケアの意義について理解する
27	介護ロボットについて
28	総合演習①：事例を検討し、グループによるロールプレイ

29	総合演習②：事例を検討し、グループによるロールプレイ
30	総合演習③：事例を検討し、グループによるロールプレイ

# 科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」					学 科 名	ケアキャリア養成科	
科目番号	0204	科 目 名	介護基礎Ⅲ（医療）			科目区分	兼任・実務経験教員
科 目 群	介護基礎	担当講師	高野光子			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	1	授業形態	講義
教 科 書	やさしく学べる介護の知識・技術 甘利庸子編著 中央法規						
成績評価	試験（期末テスト）80% 授業態度 10% 提出物 10%						

## 1. 授業概要

老化に伴う心理的、身体的機能の変化の特徴と影響を理解する
------------------------------

## 2. 到達目標

高齢者の老化に伴う心理的、身体的機能の低下に対し医療がどう関わっているか理解する
--

## 3. 授業計画

前期	
1	介護の対象者の理解：対象者と医療との関連性の基礎
2	老化の基本的理解①：加齢と老化に伴う心身の変化、障害、疾病に関する理解
3	老化の基本的理解②：具体的な介護や生活援助事例に基づく医学の基礎的知識の習得
4	老化の基本的理解③：高齢者の心理に関する基本的知識の習得
5	認知症の基本的理解①：認知症の病理・行動の知識を習得する
6	認知症の基本的理解②：認知症を取り巻く状況の理解
7	認知症の基本的理解③：医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理
8	認知症に伴う心と体の変化と日常生活：認知症を持つ利用者の心理に関する知識
9	家族への支援：認知症を持つ利用者の家族の生活実態と心理に関する知識
10	障害の基本的理解①：障害福祉の基本理念
11	障害の基本的理解②：高齢者との介護の違いを踏まえた障害に関する知識
12	障害の基本的理解③：介護における障害の概念と ICF の知識の習得
13	障害の基本的理解④：障害の医学的側面、生活障害などの基礎知識
14	振り返り
15	期末テスト

# 科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」						学 科 名	ケアキャリア養成科
科目番号	0301	科 目 名	介護実務 I			科目区分	専任・実務経験教員
科 目 群	介護実務	担当講師	山根陽子			履修区分	講義
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	3	授業形態	必修
教 科 書	実務者研修テキスト1 第4版(中央法規)			参考書			
成績評価	試験(確認テスト・期末テスト) 80%			授業態度 10%			

## 1. 授業概要

尊厳の保持、自立支援、権利擁護など介護の基本的理念を理解する。介護保険制度や障害者総合支援法の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、財源等について基本的知識を身に付ける。  
成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等の制度の概要を理解する。

## 2. 到達目標

尊厳の保持、自立支援など介護の基本的理念を理解し、専門職としての意識を持った行動をとることが出来るようになる。社会保障制度の概要を理解し、介護実践の現場で必要とされる基本的知識を習得する。

## 3. 授業計画

前期	
1	人間の尊厳と自立① ニーズについて、自立について、自立支援について
2	人間の尊厳と自立② ノーマライゼーション、権利擁護
3	介護保険制度① 介護保険の概要、要介護認定とケアマネジメント
4	介護保険制度② 介護サービス事業者と施設
5	介護保険制度③ 介護報酬、介護財源
6	介護保険制度④ 介護保険はなぜつくられたのか、介護保険の実施状況
7	生活と福祉
8	各国の介護と福祉の制度① 家族介護から社会介護へ
9	各国の介護と福祉の制度② 海外の福祉と日本の現状
10	障害者総合支援法と障害者福祉サービスの概要①
11	障害者総合支援法と障害者福祉サービスの概要②
12	介護実践に関連する諸制度① 医療制度、年金制度
13	介護実践に関連する諸制度② 所得保障、生活保護
14	介護実践に関連する諸制度③ 居住政策、成年後見制度
15	期末テスト、まとめ

科目の教育目標・授業計画「2019年度」					学 科 名	キャリア養成科	
科目番号	0303	科 目 名	介護実務Ⅱ		科目区分	専任・実務経験教員	
科 目 群	介護実務	担当講師	神成圭司		履修区分	必修	
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書	実務者研修テキスト（第4版） 日本医療企画参考書						
成績評価	課題提出 60%（2回提出）、グループワーク・発表への貢献度 30%、授業態度 10%						

### 1. 授業概要

介護計画立案に必要な介護のあり方をグループ、個別で習得し計画、実施、評価の流れを理解する。の授業では教員が、実際に介護現場で経験、体験したことを事例にし、学生に伝える事でより現実味のある授業を展開する事ができる

### 2. 到達目標

知識や技術を統合し介護過程を展開し、介護計画を立案し適切サービスを提供できる能力を習得する

### 3. 授業計画

後期	
1	介護過程の展開を学ぶ前に：生活の過程を展開するとはどのような事か、理由を考える
2	介護過程の意義①：なぜ介護過程が必要なのか演習を通して求められる介助を導き出す
3	介護過程の意義②：グループごとに利用者、介助者、記録役としてコメント発表
4	アセスメントとケアプラン：介護過程という思考過程を理解する
5	介護過程の理解：基本視点、利用者理解の基本姿勢、介護過程の必要性、流れを理解する
6	介護計画におけるアセスメント①：利用者の生活の総合的理解
7	介護計画におけるアセスメント②：介護計画におけるアセスメントの意義と目的
8	介護計画における「課題」の明確化：課題とは？課題の優先順位を決める
9	個別介護計画の立案と実施に至るまで①：個別介護計画の意義と目的
10	個別介護計画の立案と実施に至るまで②：個別介護計画の立案と内容の検討
11	個別介護計画の立案と実施に至るまで③：目標の設定、具体的な支援内容・方法の決定
12	個別介護計画に基づくサービス提供の実施①：総合的な援助の方針と介護目標の確認
13	個別介護計画に基づくサービス提供の実施②：支援内容、支援方法の確認、説明と同意
14	個別介護計画における評価と評価方法：評価の意義と目的、目標に沿った評価とは（事例参考）
15	課題提出①（事例に基づいた個別介護計画の作成）
16	介護過程の実際①：事例から学ぶ介護過程①（各グループによる総合演習）
17	介護過程の実際②：事例から学ぶ介護過程②（各グループによる介護過程発表）
18	介護過程の実際③：事例から学ぶ介護過程③（各グループによる総合演習）
19	介護過程の実際④：事例から学ぶ介護過程④（各グループによる介護過程発表）
20	介護におけるチームのコミュニケーション：記録の書き方・記録の意義、目的
21	ケアプランとサービス計画に関する基礎的理解：高齢者の生活を支えるケアプランとサービス
22	ケアプランと各サービス計画との関係：居宅におけるケアプランと具体的サービスとの関係
23	ケアマネジャーによるケアマネジメント過程の展開①：アセスメントとニーズの把握
24	ケアマネジャーによるケアマネジメント過程の展開②：居宅ケアプランの作成と展開
25	各サービス計画：訪問介護計画、通所介護計画を事例として
26	ケアプラン・サービス計画に基づいたモニタリングと記録：モニタリングの必要性について
27	介護過程の事例と評価：介護過程を展開する基本視点
28	介護過程の展開①（グループによる事例検討）

29	介護過程の展開②（グループによる事例検討）
30	課題提出②（事例から個人で介護過程を展開する）

科目の教育目標・授業計画「2019年度」					学 科 名	キャリア養成科	
科目番号	0305	科 目 名	介護実務Ⅲ			科目区分	兼任・実務経験教員
科 目 群	介護実務	担当講師	高野光子			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	10	授業形態	演習
教 科 書	実務者研修テキスト（第4版） 8巻 日本医療企画						
成績評価	実技評価（5分野全て合格が絶対条件） 80%、授業態度 20%						

### 1. 授業概要

医療的ケアを安全、適切に実施するために必要な技術を演習を通し学習する
------------------------------------

### 2. 到達目標

医療的ケアを安全、適切に実施できるよう必要な関連知識、技術を身に付けることができる
---

### 3. 授業計画

前期	
1	医療的ケアについて：医療的ケアの意義、使用物品等の説明
2	清潔保持と感染予防
3	喀痰吸引、経管栄養概論：
4	喀痰吸引（口腔・鼻腔・気管カニューレ内部）のデモンストレーション
5	喀痰吸引演習（口腔）①：グループによるロールプレイ
6	喀痰吸引演習（口腔）②：グループによるロールプレイ
7	喀痰吸引演習（口腔）③：グループによるロールプレイ
8	喀痰吸引演習（口腔）④：評価前の演習
9	喀痰吸引演習（口腔）⑤：最終評価（実技評価）
10	喀痰吸引演習（鼻腔）①：グループによるロールプレイ
11	喀痰吸引演習（鼻腔）②：グループによるロールプレイ
12	喀痰吸引演習（鼻腔）③：グループによるロールプレイ
13	喀痰吸引演習（鼻腔）④：評価前の演習
14	喀痰吸引演習（鼻腔）⑤：最終評価（実技評価）
15	振り返り
16	喀痰吸引演習①（気管カニューレ内部）：グループによるロールプレイ
17	喀痰吸引演習②③（気管カニューレ内部）：グループによるロールプレイ
18	喀痰吸引演習④（気管カニューレ内部）：評価前の演習
19	喀痰吸引演習⑤（気管カニューレ内部）：最終評価（実技評価）
20	経管栄養（胃ろう・経鼻胃管）デモンストレーション
21	経管栄養（胃ろう）①：グループによるロールプレイ
22	経管栄養（胃ろう）②：グループによるロールプレイ
23	経管栄養（胃ろう）③：グループによるロールプレイ
24	経管栄養（胃ろう）④：評価前の演習
25	経管栄養（胃ろう）⑤：最終評価（実技評価）
26	経管栄養（経鼻胃管）①：グループによるロールプレイ
27	経管栄養（経鼻胃管）②③：グループによるロールプレイ
28	経管栄養（経鼻胃管）④：評価前の演習



29	経管栄養（経鼻胃管）⑤：最終評価（実技評価）
30	振り返り

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」					学 科 名	ケアキャリア養成科	
科目番号	0304	科 目 名	医療実務Ⅲ		科目区分	兼任・実務経験教員	
科 目 群	介護実務	担当講師	高野光子		履修区分	必修	
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	実務者研修テキスト（第4版） 6・7巻 日本医療企画						
成績評価	試験（確認テスト・期末テスト）80％ 授業態度 20％						

1. 授業概要

老化に伴う機能低下、高齢者に多い病気について理解し、日常生活支援で活かせるようにする
--

2. 到達目標

医療的側面から高齢者を考察し、介護と医療の連携の必要性を理解する事ができるようになる
--

3. 授業計画

後期	
1	発達と老化①：老化のメカニズム、老化の特徴を理解
2	発達と老化②：老年期の発達課題、高齢者の心理的課題と支援の留意点の理解
3	確認テスト
4	認知症の理解①：認知症による生活障害、心理・行動の特徴と支援の基本を理解
5	認知症の理解②：疾患としての認知症の中核症状、周辺症状の理解
6	認知症の理解③：認知症を引き起こす原因疾患と発生誘因の理解
7	確認テスト
8	障害の理解①：障害者福祉制度、施策の背景と動向、障害者理解の解決すべき課題の理解
9	障害の理解②：医学的側面からみた障害の理解
10	障害の理解③：障害者への支援の実際の理解
11	確認テスト
12	介護に関わるところとからだ①：高齢者に多い病気とからだのしくみについて理解できる
13	介護に関わるところとからだ②：人体の構造と機能、疾患との関わりの理解
14	確認テスト
15	期末テスト

科目の教育目標・授業計画 「2019年度」

						学 科 名	ケアキャリア養成科
科目番号	0401	科 目 名	同行援護従事者養成研修			科目区分	専任
科 目 群	キャリアアップ	担当講師	山根陽子・神成圭司			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	福祉住環境コーディネーター3級短期合格テキスト			参考書	福祉住環境コーディネーター3級短期合格テキスト		
成績評価	試験（確認テスト・期末テスト）80%			授業態度	10%	提出物	10%

1. 授業概要キャリアコンサルタント③

福祉住環境コーディネーター3級合格を目指し、医療・福祉・建築について体系的で幅広い知識と専門性を身に付ける。
--

2. 到達目標

福祉住環境コーディネーター3級の資格を取得し、安全で安心して暮らせる住環境を提案することができる。
---

3. 授業計画

後期	
1	授業オリエンテーション：授業の概要、目標、評価
2	少子高齢社会と共生社会への道、福祉住環境整備の重要性・必要性
3	在宅サービスの維持とケアサービス、高齢者の健康と自立
4	障害者が生活の不自由を克服する道、バリアフリーとユニバーサルデザイン
5	生活を支えるさまざまな用具① 生活のなかの問題点と用具の応用、福祉用具の基本性能
6	生活を支えるさまざまな用具② 移動・移乗のための福祉用具（杖・歩行器・スロープ）
7	生活を支えるさまざまな用具③ 移動・移乗のための福祉用具（車いす・移動用リフト）
8	起居・就寝・排泄・入浴のための福祉用具、コミュニケーション支援用具、自助具
9	住まいの整備のための基本技術① 段差と床材、手すりと建具
10	住まいの整備のための基本技術② スペースや家具、収納への配慮
11	生活行為別に見る安全・安心・快適な住まい① 屋外移動、屋内移動
12	生活行為別に見る安全・安心・快適な住まい② 水回り（トイレ、洗面、脱衣所、浴室）
13	生活行為別に見る安全・安心・快適な住まい③ 調理・起居・就寝
14	安心できる住生活とまちづくり
15	期末テスト、まとめ

科目の教育目標・授業計画「2019年度」						学 科 名	ケアキャリア養成科
科目番号	0402	科 目 名	福祉・ビジネスマナー			科目区分	専任
科 目 群	キャリアアップ <sup>o</sup>	担当講師	小野恭子・神成圭司・山根陽子			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	1	授業形態	講義
教 科 書				参考書			
成績評価	試験（確認テスト・期末テスト）50%			授業態度 30%	提出物 20%		

### 1. 授業概要

介護、ビジネスを行う上で必要な言葉使いやマナーを身に付け、行事等を通し日本の文化や習慣を理解する。
---

### 2. 到達目標

1年後の進路に向けて、ことば使いやマナー、日本の習慣や常識を習得する。
-------------------------------------

### 3. 授業計画

前期	
1	教室内でのマナー（ケアキャリア憲法作成）
2	学校行事でのマナー
3	非常時の行動とマナー（避難経路、避難場所の確認）
4	日本のマナーと常識①（介護支援に必要な言葉使い）
5	日本のマナーと常識②
6	日本の行事や習慣①（4月～6月）
7	キャリアコンサルタント①（自己覚知）
8	キャリアコンサルタント②（自己覚知）
9	キャリアコンサルタント③（施設説明会）
10	日本の行事や習慣②（7月～9月）
11	面接・ビジネスマナーについて①
12	面接・ビジネスマナーについて②
13	面接・ビジネスマナーについて③
14	日本の行事や習慣③（10月～12月）
15	期末テスト
後期	
1	家事の基本① 掃除（居間、寝室、台所、トイレ、浴室）
2	家事の基本② 洗濯、衣類の整理、ゴミ出し
3	福祉レクリエーション①（ゲーム）
4	福祉レクリエーション②（軽体操）
5	福祉レクリエーション③（クラフト）
6	日本の行事や習慣④（1月～3月）
7	大掃除と年越しについて
8	日本の文化や歌①
9	日本の文化や歌②
10	食事のマナーについて
11	和室のマナーについて
12	キャリアコンサルタント④ 進路決定（相談、決定）
13	キャリアコンサルタント⑤ 進路決定（必要書類の作成）
14	卒業に向けて、振り返り
15	期末テスト

科目の教育目標・授業計画「2019年度」						学 科 名	ケアキャリア養成科
科目番号	0801	科 目 名	日本語（基礎）			科目区分	専任
科 目 群	スキルアップ	担当講師	小野 恭子			履修区分	講義
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	24	授業形態	選択必修
教 科 書	「日本語総まとめ（漢字・語彙）」他			参考書			
成績評価	試験 70%、小テスト 10%、提出物 10%、授業への貢献度 10%						

### 1. 授業概要

日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、幅広い日本語の基礎力を身に付ける。

### 2. 到達目標

- ・身の回りの日常的な語や短文が読め、具体的で短い文章が書けるようになる。
- ・具体的な短い談話が理解でき、自分に関すること等、具体的で日常的なことが話せるようになる。

### 3. 授業計画

前期	
1	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／1.自動詞・他動詞／1.助詞①）
2	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／2.複合動詞①／2.助詞②）
3	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／3.複合動詞②／3.接続表現①）
4	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／4.する動詞／4.接続表現②）
5	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／5.意味のある動詞／5.受身・使役・使役受身）
6	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／6.い形容詞／6.文末表現）
7	中間テスト
8	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／7.な形容詞／7.敬語①尊敬語）
9	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／8.対義語①／8.敬語②謙譲語）
10	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／9.対義語②／9.敬語③丁寧語・美化語）
11	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／10.副詞／10.敬語④）
12	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／11.擬音語・擬態語／初中級文法まとめ問題）
13	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／12.カタカナ語①／初中級文法まとめ問題）
14	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／13.カタカナ語②／初中級文法まとめ問題）
15	期末テスト
後期	
1	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／1.漢字読み・表記／1.文の文法1）
2	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／2.漢字読み・表記／2.文の文法1）
3	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／3.文脈規定（動詞・名詞）／3.文の文法2）
4	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／4.文脈規定（形容詞）／4.文の文法2）
5	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／5.言い換え類義（動詞・名詞）／5.文章の文法3）
6	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／6.言い換え類義（形容詞・副詞）／6.文章の文法3）
7	中間テスト
8	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／7.用法（動詞・名詞）／7.文法形式まとめ）
9	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／8.用法（動詞・名詞）／8.文法形式まとめ）
10	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／9.用法（形容詞・副詞）／JLPT 対策問題）
11	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／10.用法（形容詞・副詞）／JLPT 対策問題）
12	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／11.言語知識 JLPT 対策問題）
13	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／12.言語知識 JLPT 対策問題）
14	漢字・語彙・文法（「日本語総まとめ」／13.言語知識 JLPT 対策問題）

15	期末テスト
----	-------

科目の教育目標・授業計画「2019年度」					学 科 名	ケアキャリア養成科	
科目番号	0802	科 目 名	日本語（応用）		科目区分	専任	
科 目 群	スキルアップ	担当講師	小野 恭子		履修区分	講義	
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	12	授業形態	選択必修
教 科 書	「介護の日本語 基本のことば」他			参考書			
成績評価	試験 70%、小テスト 10%、提出物 10%、授業への貢献度 10%						

### 1. 授業概要

日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）をもとに、JLPT や専門科目での読解・聴解等の応用力を養う。
---

### 2. 到達目標

・基本的な日本語の言語知識や介護の専門用語を習得し、専門科目の授業を理解できるようになる。
---

### 3. 授業計画

前期	
1	「介護の日本語 基本のことば」Part 1.施設のことば 1-1 関係する職種の人たち
2	「介護の日本語 基本のことば」Part 1.施設のことば 1-2 利用する人たち
3	「介護の日本語 基本のことば」Part 1.施設のことば 1-3 施設・設備・備品
4	「介護の日本語 基本のことば」Part 1.施設のことば 1-4 居室
5	「介護の日本語 基本のことば」Part 1.施設のことば 1-5 救急用品等
6	「介護の日本語 基本のことば」Part 1.施設のことば 1-6 病院・診療科
7	中間テスト
8	「介護の日本語 基本のことば」Part 2.体・体調のことば 2-1 体の部位
9	「介護の日本語 基本のことば」Part 2.体・体調のことば 2-2 体の内部
10	「介護の日本語 基本のことば」Part 2.体・体調のことば 2-3 骨・筋肉
11	「介護の日本語 基本のことば」Part 2.体・体調のことば 2-4 体質
12	「介護の日本語 基本のことば」Part 2.体・体調のことば 2-5 病気・怪我・症状
13	「介護の日本語 基本のことば」Part 2.体・体調のことば 2-6 治療
14	「介護の日本語 基本のことば」Part 2.体・体調のことば 2-7 薬
15	期末テスト
後期	
1	「介護の日本語 基本のことば」Part 3.3-1 体位、3-2 移動・移乗介助
2	「介護の日本語 基本のことば」Part 3.3-3 排泄介助
3	「介護の日本語 基本のことば」Part 3.3-4 食事介助
4	「介護の日本語 基本のことば」Part 3.3-5 入浴介助
5	「介護の日本語 基本のことば」Part 3.3-6 整容
6	「介護の日本語 基本のことば」Part 3.3-7 睡眠
7	中間テスト
8	「介護の日本語 基本のことば」Part 3.3-8 洗濯、3-9 掃除
9	「介護の日本語 基本のことば」Part 3.3-10 リハビリテーション
10	「介護の日本語 基本のことば」Part 3.3-11 日常業務・報告
11	「介護の日本語 基本のことば」Part 3.3-12 衣服
12	「介護の日本語 基本のことば」Part 3.3-13 利用者の日常
13	「介護の日本語 基本のことば」Part 3.3-14 介護課程

1 4	「介護の日本語 基本のことば」Part 3.3-15 オノマトペ						
1 5	期末テスト						
科目の教育目標・授業計画 「2019年度」						学 科 名	ケアキャリア養成科
科目番号	0805	科 目 名	福祉住環境コーディネーター（2級）			科目区分	専任
科 目 群	スキルアップ	担当講師	山根陽子・神成圭司			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	24	授業形態	講義
教 科 書	福祉住環境コーディネーター2級短期合格テキスト			参考書	福祉住環境コーディネーター2級公式テキスト		
成績評価	試験（確認テスト・期末テスト）80%			授業態度	10%	提出物	10%

### 1. 授業概要

福祉住環境コーディネーター2級合格を目指し、医療・福祉・建築について体系的で幅広い知識と専門性を身に付ける。
--

### 2. 到達目標

福祉住環境コーディネーター2級の資格を取得し、安全で安心して暮らせる住環境を提案することができる。
---

### 3. 授業計画

前期	
1	少子高齢者社会と共生社会への道
2	福祉住環境整備の重要性・必要性
3	高齢者の健康と自立
4	障害者が生活の不自由を克服する道
5	バリアフリーとユニバーサルデザインを考える
6	生活を支えるさまざまな用具
7	住まいの整備のための基本技術
8	生活行為別に見る安全・安心・快適な住まい
9	ライフスタイルの多様性と住まい
10	安心できる住生活
11	高齢者や障害者を取り巻く社会状況と福祉住環境コーディネーターの意義
12	障害のとらえ方と自立支援のあり方
13	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備
14	障害別にみた福祉住環境整備
15	期末テスト
後期	
1	福祉住環境整備とケアマネジメント
2	相談援助の実践的な進め方
3	福祉住環境整備の共通基本技術①（段差の解消・床材の選択・手すりの取り付け）
4	福祉住環境整備の共通基本技術②（建具、スペース、家具、収納への配慮）
5	福祉住環境整備の共通基本技術③（色彩、照明計画、インテリア、冷暖房への配慮）
6	福祉住環境整備の共通基本技術④（非常時の対応・経費、維持管理への配慮）
7	生活行為別福祉住環境整備の手法①（外出・屋内移動）
8	生活行為別福祉住環境整備の手法②（排泄・入浴）
9	生活行為別福祉住環境整備の手法③（更衣・洗面・整容・調理・食事・就寝）
10	福祉住環境整備の実践に必要な基礎知識
11	福祉用具の意味と適用
12	生活行為別にみた福祉用具の活用①（起居・就寝）
13	生活行為別にみた福祉用具の活用②（移動）

14	生活行為別にみた福祉用具の活用③（排泄・入浴・生活動作補助用具）						
15	期末テスト、まとめ						
科目の教育目標・授業計画「2019年度」					学 科 名	ケアキャリア養成科	
科目番号	0806	科 目 名	介護保険事務管理士		科目区分	専任・実務経験教員	
科 目 群	スキルアップ	担当講師	山根陽子・神成圭司		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	12	授業形態	講義
教 科 書	介護試験問題集＋レセプト用紙（ソラスト）			参考書	介護報酬パーフェクトガイド（医療通信社）		
成績評価	試験（確認テスト・期末テスト）80% 授業態度 10% 提出物 10%						

### 1. 授業概要

介護保険制度の仕組みや介護報酬の算定・請求方法を学び、介護保険事務に必要な知識を身に付ける。

### 2. 到達目標

介護報酬請求事務を適正に行うことが出来るようになる。介護保険事務管理士の資格を取得する。

### 3. 授業計画

前期	
1	授業オリエンテーション：授業の概要、目標、評価
2	介護保険制度の概要
3	他制度との関係（医療保険、公費負担医療）
4	介護報酬の概要
5	介護サービスの単位数
6	居宅サービスの算定
7	居宅サービスの介護レセプト①
8	居宅サービスの介護レセプト②
9	居宅サービスの介護レセプト③
10	居宅サービスの介護レセプト④
11	居宅サービスの介護レセプト⑤
12	居宅サービスの介護レセプト⑥
13	介護予防サービスの介護レセプト①
14	介護予防サービスの介護レセプト②
15	期末テスト
後期	
1	地域密着型サービスの算定
2	地域密着型サービスの介護レセプト①
3	地域密着型サービスの介護レセプト②
4	地域密着型サービスの介護レセプト③
5	地域密着型サービスの介護レセプト④
6	地域密着型介護予防サービスの介護レセプト
7	施設サービスの算定
8	施設サービスの介護レセプト①
9	施設サービスの介護レセプト②
10	施設サービスの介護レセプト③
11	給付管理業務の概要
12	介護給付費の請求方法①
13	介護給付費の請求方法②



1 4	介護給付費の請求方法③
1 5	期末テスト、まとめ